

# 令和6年度 第1回旭区地域福祉保健推進会議

日時：令和6年5月24日（金）

10時から12時まで

会場：旭区役所地下1階3号会議室

## 次第

1 開会の挨拶 区長 権藤 由紀子

2 推進会議委員紹介及び座長選出

3 議事

議題1 令和5年度の実組報告（第4期区計画推進に関する報告）

資料1 第4期区計画 基本理念・目指す姿・取組目標

資料2 令和5年度の実組報告

議題2 第4期区計画の振り返り

資料3 第4期区計画の振り返り

資料4 旭区の特性

議題3 第5期区計画策定について

資料5 第5期区計画の策定について

資料6 第5期区計画策定に向けたヒアリングについて

4 閉会の挨拶 旭福祉保健センター長 下澤 明久

# 第4期 旭区地域福祉保健計画

## 1 基本理念

地域で支え合い 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう



## 2 目指す姿

### 目指す姿1 誰もが、ともに生きるまち

キーワード：相互理解、相互理解（違い・個性を認め合う、尊重）、意識醸成、権利擁護、受け手＝担い手

- ◆取組目標1 違いや多様性を認め合い、支え合える意識の醸成を進める。
- ◆取組目標2 子どもの頃から思いやりの心を育むとともに、地域の一員としてのつながりづくりを進める。
- ◆取組目標3 世代や分野を超えたつながりづくりを進め、受け手・支え手を区別することなく、自然な交流から生まれる対等な関係性を大切にする。
- ◆取組目標4 誰もが人権をはじめとした権利を守られ、尊重されるべき存在であるという権利擁護の取組を進める。

#### 代表的な取り組み例

- 障害・認知症等の理解・啓発講座 ○生活困窮者自立支援事業 ○成年後見サポートネット
- アウトリーチパートナー養成講座 ○ジュニアボランティア体験事業
- 小中学校における福祉講座や命の授業 ○子育てマルシェ ○子育てサロン、子どもの居場所
- あさひ・ゆかいなコンサート ○寄付活動 ○地域食堂

### 目指す姿2 みんなが、声をかけあえるまち

キーワード：見守り、交流、身近な地域、気にかけて支えあう、つながり、ネットワーク

- ◆取組目標1 より身近な地域での見守りや支え合い・つながりづくりの取組を一層進める。
- ◆取組目標2 みんなで話し合い、考えるプロセスを大切にし、地域課題の解決に向けた取組を進める。
- ◆取組目標3 地域での見守り・支え合いの取組を多面的に支援する。

#### 代表的な取り組み例

- 地域の居場所づくり（サロン・カフェ等）○地域のお祭り等地域のイベント
- ご近助ほっこり活動 ○地域食堂 ○移動販売 ○セーフティネット会議 ○スマホ活用講座
- 地域ケア会議 ○地区別計画推進会議 ○通学支援 など

### 目指す姿3 ひとりひとりが、自分らしくいられるまち

キーワード：一人ひとりが自分らしく参加・活躍、参加しやすい、役割、特技・経験を活かす

- ◆取組目標1 ひとりひとりの思いや力が大切にされ、自分のペースで参加できる場・機会を増やす。
- ◆取組目標2 健康づくりをきっかけに、つながりが増え、支え合える地域づくりを進める。
- ◆取組目標3 地域活動を活発にするための人材づくりを進める。

#### 代表的な取り組み例

- ボランティア養成講座・地域デビュー講座（あさひみらい塾） ○地域活動の運営支援
- 生涯学習支援 ○きらっとあさひ補助金 ○健康づくりの取組支援 など

# 令和6年度 地域福祉保健推進会議



目指す姿1 誰もが、ともに生きるまち

## 子育て支援連絡会（こども家庭支援課）

地域と共有した課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 旭区の子育て世帯の現状（障害、困窮、ひとり親家庭が多いなど）</li></ul>
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 居場所をテーマに、地域での子育て支援について検討。</li></ul>
地域と連携したポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子育て支援連絡会運営委員会にて、課題を検討・共有。</li></ul> <p>&lt;出席者&gt; 区、地域子育て支援拠点、民生委員主任児童員、保健活動推進員、公立保育園社会福祉協議会、地域ケアプラザ等</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区域の子育て団体・関係機関が課題や方向性を共通認識することができた。</li><li>・ 関係団体・組織が取組を実施するため、地域との連携・ネットワークづくりの必要性が示唆されている。</li></ul>



子育て支援連絡会の様子

目指す姿1 誰もが、ともに生きるまち

## 横浜市チームオレンジ（地域ケアプラザ）

地域と共有した課題	・ 高齢化の進行に伴い認知症患者数が増加している。
取組の内容	・ 幅広い年代への認知症普及啓発を実施。 ◇二俣川地域ケアプラザ 「ふたばカフェ」 ◇白根地域ケアプラザ 「スタンプラリー」「オレンジガーデン」 ◇南希望が丘地域ケアプラザ 「当事者講演会」 「地域で考える認知症啓発」 ランとも「RUN伴」
地域と連携したポイント	・ 認知症の支援者だけでなく当事者も一緒に活動や楽しめる環境に配慮した。
成果	・ ボランティアの発掘や地域の様々な団体の認知症普及啓発につながり支援の輪が広がった。

### 二俣川 地域ケアプラザ



ふたばカフェの様子

目指す姿1 誰もが、ともに生きるまち

# 横浜市チームオレンジ（地域ケアプラザ）

白根  
地域ケアプラザ



Team Orange

白根チーム  
オレンジ  
ロゴマーク



スタンプラリー



オレンジガーデン

南希望が丘  
地域ケアプラザ



認知症を我が事として  
考えるためのグループワーク



チームオレンジの証！  
手作りマスコット



RUN伴2023 よこはま+

目指す姿2 みんなが、声をかけあえるまち

## 通学支援（区社協）

地域と共有した課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・障害のあるお子さんの中学校の通学に付き添ってくれるボランティアさんがいない。</li></ul>
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・区社協の移動情報センターに寄せられた相談を地区民児協に共有し、地域の中でお声がけいただき7人のボランティアが集まり、週5日1日2回（登校・下校）の通学支援につながった。</li></ul>
地域と連携したポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・地元住民から住民に声をかけて身近なところでボランティアを探してもらった。</li><li>・ボランティアと区社協で対象生徒の情報共有会を年2回開催し、通学支援をサポートしている。</li></ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・地元を良く知る住民と保護者がつながり、通学支援以外のことも相談できる間柄になった。</li><li>・通学支援をする中でまちを良くする気づきがあった。（通学路をふさぐゴミ置き場の改善等）</li><li>・何か活動をやってみたかった人へのきっかけとなった。（通学支援ボランティアにつながった）</li></ul>



通学中の対象生徒とボランティアさん

目指す姿3 ひとりひとりが、自分らしくいられるまち

## あさひみらい塾（地域振興課）

地域と共有した課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・担い手不足が深刻化する中、地域活動に参加したことがない新たな層への地域デビュー支援が必要である。</li></ul>
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演、区内の活動見学やグループワークを含む連続講座を公募型で実施（全5講、修了者15名）</li></ul>
地域と連携したポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動者からコミュニティカフェの取組事例を紹介していただいた。区社協、地域ケアプラザから施設の活用方法を説明していただいた。</li></ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・新たな活動の開始や活動の広がりにつながった。 (ボランティア活動・自治会活動への参加、活動グループの立ち上げなど)</li></ul>



「ハートフル・ポート」見学の様子



## 第4期区計画の取組・成果（抜粋）

### 目指す姿1 相互理解・権利擁護

- ・幅広い世代に対して、認知症や障害、困窮に関する啓発を進めた。
- ・子どもの頃から思いやりの意識を醸成する機会や地域への関心を持つ機会を作った。
- ・住民主体の働きかけや関係機関の連携により、地域の中で子ども（子育て）の居場所づくりが進んだ。
- ・一人ひとりの権利擁護について、関係機関が連携して啓発や相談支援に取り組んだ。

### 目指す姿2 見守り・交流、ネットワーク

- ・ゆるやかな見守りや身近な地域の居場所づくり、誰もが参加しやすいイベントの開催により、顔の見える関係づくりや地域との関わりが薄い住民の参加・関心向上を進めた。
- ・各支援機関で連絡会を開催し、課題や支援の方向性の検討を通して、連携体制の強化に取り組んだ。
- ・地域活動の情報発信や情報共有をオンラインで行う等、ICTを活用した人と人とのつながりづくりを進めた。
- ・各地区で、地域活動団体と支援機関が地域課題について話し合う機会が作られた。

### 目指す姿3 一人ひとりが自分らしく参加

- ・各支援機関が地域活動に関する研修や講座等を企画し、地域人材の発掘・育成に取り組んだ。
- ・健康づくりをきっかけとして、仲間とともに自分らしく元気に暮らすための取組を進めた。



## 第4期区計画推進中（令和3年度～）の状況や変化

### 社会の変化と地域福祉課題

- ・社会や地域のつながりの希薄化（新型コロナウイルス感染症の影響等）
- ・生活課題の複合化・複雑化（生活困窮、いわゆる「8050問題」、ひきこもり、ヤングケアラー、ダブルケア等）
  - 社会的孤立状態により、困ったときに相談できる相手がおらず、問題が深刻化する人がいる。
  - 身近に困っている人がいることを知らない、異変に気付いてもどうしたらよいか分からない人がいる。
- ・デジタル化による社会生活の急速な変化
  - 情報発信手段や人と人がつながる機会が多様化。情報を入手・利用できない情報弱者がいる。
- ・地域活動の担い手不足（高齢化・固定化）

### 旭区特性（現状と変化）

- ・自然減により人口はゆるやかに減少している一方、単身世帯数（特に後期高齢者）は増加している。
- ・地域（地区）差が大きい。（年齢別人口構成や交通の利便性等）

### 令和5年度旭区区民意識調査

- ・近所との付き合い方として、「顔をあわせたら挨拶する程度」を望む人が最も多い。（35%）
- ・地域活動に参加できない/しない理由の半数以上が「仕事や家事などで時間がとれないから」と回答（55%）
- ・地域の住民同士が取り組むべきものとして、「防災・減災や災害時への備え」を約半数が選択（46%）

### 令和5年度地域福祉保健の情報発信強化に向けた調査（対象：働き・子育て世代（20～50代））

- ・地域活動に参加するために必要な条件・環境は「参加するために自分の時間を確保できる」（55.7%）、「時間の制約・拘束がない」（54.2%）、「参加する方法が分かりやすく案内されている」（49.6%）の順が多い。

## 今後（第5期区計画）につなぐこと 継続したい視点・取組

### 目指す姿1 相互理解・権利擁護

- ・困りごとを抱えている人に対して、周囲が早期に気付き支援につなげるための啓発
- ・地域の中で子どもや青少年、子育て世帯が見守られ、安心して過ごせる地域づくり
- ・子どもの頃から思いやりや支えあいの心を育む
- ・誰もが支え手（見守る側）であり受け手（見守られる側）であるという支えあいの意識の醸成

第5期での注力ポイント ◇世代や立場、状況の異なる相手への理解（相互理解）の促進  
例）知ってほしい相手に合わせた啓発の工夫（手法・内容）

### 目指す姿2 見守り・交流、ネットワーク

- ・見守る側・見守られる側の隔てのないゆるやかな見守り
- ・誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくり（交流の場や機会の維持）
- ・見守りや交流を推進するための話し合いの機会を充実
- ・切れ目のない支援のための支援機関の連携
- ・地域活動団体への多面的な支援（立ち上げ、助成金、活動場所など）

第5期での注力ポイント ◇地域における日常生活の様々な場面をゆるやかな見守り・交流の機会と捉える  
例）あいさつや防災を切り口とした取組、企業との協働による移動販売  
◇支援機関のネットワークの強化・拡充  
例）学校、企業、社会福祉法人、NPO法人等多様な主体との連携

### 目指す姿3 一人ひとりが自分らしく参加

- ・病気や障害があっても活躍できる地域の機会づくり
- ・時間や場所を選ばず気軽に取り組める健康づくりの推進
- ・地域活動の新規参加・継続につながる切れ目のない人材支援（情報発信、地域デビュー講座、活動の継続支援など）

第5期での注力ポイント ◇個人の価値観や生活状況を尊重した、誰もが参加しやすい活動の推進  
例）既存の活動時間や役割分担にとらわれない、働く世代が地域活動に参加しやすい体制づくり  
◇地域や地域活動に関心を持ってもらうための情報発信  
例）関心に応じた発信内容や発信媒体の工夫

# 旭区の特性(現状と変化)

資料4

## 地域

### 人口

ゆるやかに減少  
後期高齢者が増加

### 世帯

単身世帯割合が増加  
(特に後期高齢者)

### 地域活動

地域活動は活発  
新規担い手不足

## 福祉 保健

### 子ども

年少人口が増加して  
いる地区もある

### 高齢者

地区差が大きい

### 障害者

障害者施設  
が多い

### 健康・医療

平均自立期間  
市平均並み  
(男 80歳、女 84歳)

## 住環境

### 環境

大規模公園等があり  
緑が多い

### 交通

区内で利便性に  
差がある

### 住まい

4つの大規模団地で  
約3万人が暮らす

## ①令和5年度 旭区区民意識調査（抜粋）

★ …複数選択の設問  
 () …平成30年度旭区区民意識調査

明日をひらく都市  
 OPEN × PIONEER  
 YOKOHAMA

望ましい近所との付き合い方（上位3位）		
顔をあわせたら挨拶する程度	35%	↘ (28%)
立ち話や世間話ができる	30%	↙ (37%)
困った時に相談や助け合う	18%	↙ (22%)

n=1,676

地域の住民同士が取り組むべきもの★（上位4位）		
防災・減災や災害時への備え	47%	↙ (48%)
交通安全や防犯	43%	↘ (39%)
高齢者や障害者などへのサポート や見守り、介護をしている人への支援	40%	↙ (41%)
住民同士の交流や助け合いの促進	39%	↙ (42%)

n=1,676

## ②令和5年度 地域福祉保健の情報発信強化に向けた調査（抜粋）

地域活動の印象（上位3位）	
近隣・地域の知り合いが増える	45%
人間関係に気を遣う	44%
時間的な負担が大きい	39%

n=1,026

地域活動に参加するために大切な条件や環境（上位3位）	
参加するために自分の時間を確保できる	56%
時間の制約・拘束がない	54%
参加方法が分かりやすく案内されている	50%

n=1,026

# 第5期区計画の策定について

## 第5期旭区地域福祉保健計画の策定概要

計画期間：令和8年度～令和12年度

- (1) 区域の事業や地域活動が停滞したコロナ禍を経て、ようやく動き出した第4期計画の取組の継続性を重視し、第4期計画の基本的な考え方を引き継いだ計画とします。
  - ▶ 「基本理念」「目指す姿」を継続
  - ▶ 具体的な取組には、第4期計画の振り返りや社会状況の変化を反映
  
- (2) 旭区の特徴を踏まえ策定します。
  - ▶ 計画策定検討部会委員及びヒアリング団体の選定
  - ▶ 区域の課題の抽出や区域での取組・支援の検討 等

# 旭区の特性(現状と変化)

資料4再掲

## 地域

### 人口

ゆるやかに減少  
後期高齢者が増加

### 世帯

単身世帯割合が増加  
(特に後期高齢者)

### 地域活動

地域活動は活発  
新規担い手不足

## 福祉 保健

### 子ども

年少人口が増加して  
いる地区もある

### 高齢者

地区差が大きい

### 障害者

障害者施設  
が多い

### 健康・医療

平均自立期間  
市平均並み  
(男 80歳、女 84歳)

## 住環境

### 環境

大規模公園等があり  
緑が多い

### 交通

区内で利便性に  
差がある

### 住まい

4つの大規模団地で  
約3万人が暮らす

# 策定体制（策定検討部会委員構成）

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER

大分類	分野	選出団体
地域	地域	旭区連合自治会町内会★
	地域福祉	地区社会福祉協議会★
	福祉全般	民生委員児童委員協議会★
	高齢者活動団体	老人クラブ★
	保健	保健活動推進員★
	子育て支援 居場所づくり	民生委員児童委員協議会（主任児童委員）★ ハートフル・ポート
福祉 保健	高齢者支援	介護支援専門員協議会★
	障害者支援	地域自立支援協議会★ 地域自立支援協議会精神連絡会代表（ヴィラあさひの丘）
	医療福祉	神奈川病院（医療福祉相談室）
	—	独立行政法人都市再生機構（UR） 相鉄ホールディングス株式会社
住環境	—	—
	学識経験者	神奈川県立保健福祉大学 中村美安子教授★

★：推進会議と共通の組織・団体

マーカー：新規

# 策定体制

## 事務局

計画策定の中心となり、  
会議運営等を行う。

区役所

区社協

地域ケアプラザ

↓ 資料作成、データ整理の委託

## 委託事業者

区からの委託により  
策定事務を補助する。

策定方針・  
計画案



意見

## 地域福祉保健推進会議（委員15名）

区内関係組織・団体の代表  
学識経験者

### 策定検討部会（委員14名）

区内関係組織・団体の実務を担う方  
アドバイザー（学識経験者）

計画案



意見





# 策定スケジュール

令和6年度

- 5月 第1回地域福祉保健推進会議
- 6月 策定検討部会①
- 6～8月 団体ヒアリング
- 10月 策定検討部会②
- 11月 策定検討部会③
- 2月 第2回地域福祉保健推進会議

令和7年度

- 5月 策定検討部会④
- 7月 策定検討部会⑤
- 8月 第1回地域福祉保健推進会議
- 9月 パブリックコメント
- 11月 第2回地域福祉保健推進会議

区計画

地区別計画

策定準備  
(支援チーム)

計画骨子案策定

地域での話し合い

計画素案策定

計画原案策定

地区別計画策定

11月～ デザイン委託、冊子印刷等

令和8年3月 第5期旭区地域福祉保健計画 公表

## 第5期区計画策定に向けたヒアリングについて

### 1 ヒアリングの目的

第5期旭区地域福祉保健計画（以下、第5期区計画）の策定にあたり、旭区内の地域福祉保健に関わる団体から幅広くご意見をいただくため、関係団体へのヒアリングを実施します。

### 2 ヒアリングスケジュール

- 5月24日 第1回地域福祉保健推進会議でヒアリング案について説明
- 6月28日 第1回策定検討部会でヒアリング方法・内容について説明
- 6～7月 ヒアリング実施
- 8～9月 ヒアリング結果まとめ、第2回策定検討部会で報告

### 3 ヒアリング内容・方法

#### (1) 内容

- ア 「地域で支え合い安心して自分らしく暮らせるまち」をつくるために、今後、どのような取組を継続していくのか、力を入れていくのか。
- イ 「旭区をどのような地域にしていきたいか」、「日々の活動の中で課題に感じていること」、「支援機関（区・区社協・地域ケアプラザ）に対するご意見」

#### (2) ヒアリング手法

- ア 外部ヒアリング：ヒアリング団体、施設、連絡会へ出向き、事前にお送りしたヒアリング質問用紙に基づいてお話を直接伺います。
- イ 内部ヒアリング：区、区社協、地域ケアプラザの各事業等については、それぞれ事業担当者にヒアリングを行います。

### 4 ヒアリング先（案）

第4期区計画の「目指す姿」や「取組目標」に関連する旭区内の地域福祉保健団体を選定しました。

地域活動者・団体	ひまわりの会（認知症啓発）、親と子のつどいの広場、みなまきラボ、あさひみらい塾卒業生 等
関係施設・機関	保育園、地域子育て支援拠点、放課後学童クラブ、横浜西部ユースプラザ 等
関係企業	ユーコープ、移動販売事業所 等
区役所	高齢・障害支援課、こども家庭支援課、生活支援課（生活困窮担当）、区政推進課、市民活動支援センター 等
区社協	福祉教育、食支援、地区社協支援、善意銀行、子ども支援、権利擁護、生活支援体制整備、見守り活動推進、助成金 等の各種事業
地域ケアプラザ	地域活動交流コーディネーター連絡会、生活支援コーディネーター連絡会、社会福祉士分科会、看護職分科会 等
【参考】 計画策定検討部会	地区社協、地域自立支援協議会、介護支援専門員協議会、ハートフル・ポート、相鉄ホールディングス株式会社、民生委員児童委員協議会、独立行政法人都市再生機構（UR）、連合自治会町内会、老人クラブ連合会、神奈川病院、保健活動推進委員会

## 第5期計画策定に向けたヒアリング質問用紙

回答団体名：  
\_\_\_\_\_

※質問用紙を事前にご記入いただく必要はございません。ヒアリング当日に必須回答欄(太枠部分)について伺います。

旭区をどのような地域にしていきたいですか。

日々の生活や地域活動、相談支援の中で課題と感じていること、また相談体制や地域活動を応援する支援体制へのご意見等をお寄せください。

\*次ページ以降の第4期計画で進めていることに対してのご意見もあわせてお願いいたします。

取組目標や第4期計画で進めていること（下記の★印）を事前にお読みください。  
 ヒアリング当日に必須回答項目について「課題に感じていること」と「今後へのご意見」を伺います。  
 ※質問用紙を事前にご記入いただく必要はございません。  
 また、太枠以外の部分についてもご意見がございましたら当日お話しください。

ヒアリング内容は各団体により異なります。別紙ヒアリング先一覧データを参照し団体ごとに質問する箇所を太枠囲みして送付します。

## 目指す姿1 誰もが、ともに生きるまち

★取組目標	★第4期ですすめていること	課題に感じていることや今後進めたいことについてご記入ください。
<p>&lt;取組目標1&gt;</p> <p>違いや多様性を認め合い、支え合える意識の醸成を進めます。</p>	相互理解、普及啓発 【例】 障害理解啓発講座 認知症理解講座 フレイル予防、その他福祉講座	
	啓発のための人材育成	
	障害のある当事者の発信 【例】 啓発講座、交流事業 地域のまつりへの出店	
	支えあう意識（寄付文化）の醸成	
<p>&lt;取組目標2&gt;</p> <p>子どもの頃からの思いやりの心を育むとともに、地域の一員としてのつながりづくりを進めます。</p>	思いやりの心を育む 【例】 ジュニアボランティア体験事業	
	子育てを通じた地域のつながりづくり 【例】 子育てサロン、赤ちゃん教室 あさひ・ゆかいなコンサート	
	子育てを通じた地域のつながりづくり 【例】 学齢期、子どもの居場所	
<p>&lt;取組目標3&gt;</p> <p>世代や分野を超えたつながりづくりを進め、受け手・支え手を区別することなく、自然な交流から生まれる対等な関係性を大切にします。</p>	交流を通じた相互理解 【例】 スポーツ大会、ボッチャ 餅つき大会、グランドゴルフ 地域食堂、世代交流イベント	
	地区社協の活動の充実	
<p>&lt;取組目標4&gt;</p> <p>誰もが人権をはじめとした権利に守られ、尊重されるべき存在であるという権利擁護の取組を進めます。</p>	必要な制度や支援につながる環境整備 相談分析を通じた課題分析 専門職の支援の質向上	
	青少年へ支援 【例】 学習、就労支援等	

## 目指す姿2 みんなが、声をかけあえるまち

★取組目標	★第4期ですすめていること	課題に感じていることや 今後進めたいことについてご記入ください。
<p>&lt;取組目標1&gt;</p> <p>より身近な地域での見守りや支え合い・つながりづくりの取り組みを一層進めます。</p>	<p>身近な地域の見守り活動 【例】 食事会、ちよこつとボランティアサロン活動 ほっこり活動等の推進</p>	
	<p>防災訓練や地域行事への多様な参加者の促進</p>	
<p>&lt;取組目標2&gt;</p> <p>皆で話し合い、考えるプロセスを大切に、地域課題の解決に向けた取組を進めます。</p>	<p>地域課題の解決に向けた協議・協働 【例】 連合定例会、地区社協定例会 地区民児協定例会 見守り活動等の情報交換会</p>	
	<p>地域福祉保健計画の趣旨、目指す姿の共有 【例】 地区別計画推進会議 支えあい連絡会</p>	
	<p>区役所各部署の横断的な連携による地域支援</p>	
<p>&lt;取組目標3&gt;</p> <p>地域での見守り・支え合いの取組を多面的に支援します。</p>	<p>地域課題に取り組む活動団体への支援</p>	
	<p>居場所づくり、仲間づくり、助け合いの取組の発信 【例】 活動のチラシ作成、広報紙発行 X（旧ツイッター） ホームページ</p>	
	<p>学校、企業、法人の連携や協働の啓発・促進</p>	

### 目指す姿3 ひとりひとりが、自分らしくいられるまち

★取組目標	★第4期ですすめていること	課題に感じていることや 今後進めたいことについてご記入ください。
<p>&lt;取組目標1&gt;</p> <p>ひとりひとりの想いや力が大切にされ、自分のペースで参加できる場・機会を増やします。</p>	<p>出来ること・得意なことを活かせる機会づくり 【例】 ボランティア活動 地域活動</p> <p>地域活動相談窓口の周知、コーディネート促進</p>	
<p>&lt;取組目標2&gt;</p> <p>健康づくりをきっかけに、つながりが増え、支え合える地域づくりを進めます。</p>	<p>自分らしく楽しく過ごせる居場所づくり 健康寿命を延ばす取組の促進</p>	
<p>&lt;取組目標3&gt;</p> <p>地域活動を活発にするための人材づくりを進めます。</p>	<p>次世代リーダーの人材育成 地域活動事例の広報</p>	